

ふぉーいー

清水 洋子

第95号

医療法人ガラシア会
介護老人保健施設
ニューライフガラシア
広報委員会
2019年8月発行
TEL 072-729-2346
FAX 072-729-7951

8月10日に夏祭りが開催されました。
盆踊りの後は、スタッフによるパフォーマンス
「昭和歌謡」を大熱唱！みんなで一緒に踊って、
歌って、笑って、熱気あふれる時間でした。
その後場所を移動して、昼食を頂きました。

職員による昭和歌謡ショー
で盛り上がりました。

見事なスイカ割り！
ピース(▽)☺

皆さんの黄色い
声援が飛びます。

夏祭り

雪扇会の皆様の華やかな踊りに
体が思わず動き出します。

7月のお誕生日会 & たなばた会

7月3日、7月のお誕生日会に合わせ
たなばた会が開催されました。
短い時間でしたがスタッフによる七夕
の寸劇など楽しんでいただきました。

なぜ七夕にそうめんを 食べるの？

意外に知られていませんが、千年も前から
七夕の行事食となっていました。
節句に旬のものを 食べ邪気を祓う風習があり
ますが、夏においしいそうめんもそのひとつ。
暑さで食欲が減退するこの時期にぴったりで
天の川や織姫の織り糸に見立てる
こともできるからです。

法泉寺保育園から 歌のプレゼント♪

6月24日、今年も年長組の子供たち
12人が歌と手作りのプレゼントを
持ってやってきてくれました。
皆さん最初から最後までニコニコ
笑顔が こぼれていました。



今年から
徐々に拡大中！

リハビリポスター

入所の方のお部屋に
貼っています。

利用者様の自主練習の参考にして頂いたり、
家族様へリハビリの様子をご報告する内容となっています。

セルフトレーニングプログラム ～気づいた時に運動しましょう～



かかと上げ運動
両足を同時に30回
机などを持って行なって下さい



つま先上げ運動
両足を同時に30回
座って出来るだけ高く挙げま

具体的なりハビリ内容や実施している様子を
伝えたいと取り組みを始めました。
疑問やご感想などありましたら、
お気軽にリハビリスタッフまで！

目につくところに貼ってあり、
部屋で気軽に運動できるわ！
基本的動作が写真で分かり易く載っ
ているので、良いと思います。

とっても参考になりました。
楽しくリハビリしている様子を見て、
うれしく思います。
様子を見に行けない家族も喜んでます。
写真がとっても良いです。

～リハビリテーションの様子～



車椅子にて6階から4階のデイルームに
来ていただいています。
体操やその日の疲れ具合に合わせて
6階で行くこともあります。



足の筋力維持のため
もも上げ、膝伸ばし等
姿勢よく、出来るだけ高く挙げます。
(20回を3セットずつ)

ボランティア紹介 ～喜びのわかちあい～



誕生日会の
首飾り作り
盛下 徳江様

お誕生日の方たちに送る首飾り。お誕生日会に花を添えて
くださいます。制作者は盛下(もりした)徳江様。
ニューライフガラシアの創立当時から20年以上欠かさ
ず作ってくださっています。

「当時の療養師長のシスター濱崎に声をかけられてから
作り始めて、今の形になるまで、形を変えて作ってきま
した。ストローを切って、いろいろなパンチで紙を型抜
きして、針と糸でつないで首飾りをつくっています。毎
日1日30分かけて月に15個出来上がり、年間になると
130個作成していることになるわね。初めて作ってから、
どれくらい作ったかしら…」と話してくださいました。

ありがとう

感謝！

シリーズ

満足できる最期を迎えるために
～人生の締めくくりの希望を伝える大切さ～

ニューライフガラシア

施設長
阿曾沼 克弘



1. 「死ぬ時ぐらい好きにさせてよ」

この世に生きるもの、何人たりとも、いずれ訪れる死をまぬかれることはできません。つまり、私たち誰もがいつかは、いわゆる「終末期」を迎える訳です。厚労省は、2015年にこの「終末期」という言葉は適切ではないとして、「人生の最終段階」という言葉に変えることとしました。では、誰もが迎える「人生の最終段階」を、それぞれが満足できるように過ごすにはどのような準備をしてあげばよいのでしょうか。人生の締めくくり方に対しての希望について、話し合い、伝えておくことの大切さをシリーズで考えてみたいと思います。

2016年の1月5日、新聞全国紙4紙に宝島社の見開き2ページにわたる大きな広告が同時に載りました。その後、本の装丁に使われたりしたので、まだ記憶に新しい方もおられるかと思いますが、それは、草木生い茂る小川に女性が横たわって浮いている構図を描いた、ミレーのオフィーリアという絵をモチーフにしたもので、広告では女性（オフィーリア）が樹木希林さんに代わっていました。表題には、「死ぬ時ぐらい好きにさせてよ」と書かれています。

それに続く文章を紹介します。

「人は必ず死ぬというのに。長生きを叶える技術ばかりが進化して、なんとまあ死ににくい時代になったことでしょう。死を疎むことなく、死を焦ることもなくひとつひとつの欲

を手放して、身じまいをしていきたいと思うのです。人は死ねば宇宙の塵芥。せめて美しく輝く塵になりたい。それがわたしの最後の欲なので。」

これらの言葉はおそらく樹木さんの思いを反映したものと思われます。当時、この広告は、人生の最終段階における生き方そして死に方を考えるきっかけを与えるものとして、大きな反響を呼びました。ご存知のように、2018年9月15日に樹木希林さんは亡くなられるのですが、最期まで、この思いを貫かれた立派な死ではなかったかと感服する次第です。まさに美しく輝く宇宙の塵になられたことと思います。



次回は、安楽死と尊厳死について
考えてみたいと思います。

異動の

おらせ



6階から異動して参りました藤田真理子です。声が大きいのが特徴です。何かありましたら、いつでも声を掛けて下さい。お願い致します。



7月より6階フロアに異動となりました貴島久美子と申します。6階の利用者様にやさしくお声を掛けて頂き、おかげ様で楽しくお仕事をさせて頂いています。まだ不慣れな事もありますが、宜しくお願い致します。

介護の日のイベント

内容 認知症サポーター
(オレンジリング)
養成講座
日時 11月9日(土)
13:00~14:30
場所 7階ガラシアホール



秋の作品展

2019年10月16日～
2019年11月20日
4階フロアにて



書道・共同作品
など展示します。